



“心豊かに  
笑顔あふれる”

青森県  
総合社会教育センター

響

所報〈ひびき〉

No.  
110

平成30年 2月23日

# あおもりの未来をつくる人づくり 第29期パワフルAOMORI！創造塾

当センターでは、地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成することをねらいとして「パワフルAOMORI！創造塾」を実施しています。第29期を迎える今年度は、県内各地より20～30代を中心とした約20名の若者が「あおもりを熱くしよう」と集結しました。

本事業は7月の第1回講座を皮切りに、およそ半年にわたる3回の講座（1泊2日の合宿型）、実践活動、さらには卒塾後の活動プランのプレゼンテーションにより構成されています。

三村知事をはじめ、地域住民を巻き込みながら映画制作を行う映画監督の林弘樹さん、地域に飛び込むスーパー公務員の山田崇さんなど、地域づくりに熱い情熱を持つ講師陣から指導を受け、塾生たちは互いに切磋琢磨しながら、自らの地域づくりへの「オモイ」を着実に「カタチ」にしていきます。



熱心に講義を聴く塾生



ワークショップのーコマ（第1回講座）

パワフルAOMORI！創造塾に参加して、人として成長できました。人の大切さに気付くことができました。このような講座に参加するのは初めてですが、回を重ねるごとに塾生間の結束は強まり、かけがえのない仲間と呼べる存在になりました。また、故郷や地域に対する「オモイ」を声に出して、熱く本気で語ることができました。これらは必ず、自分の人生の中で貴重な体験、出会いであったと言えると思います。

（第29期同期会会長 山端 祥 氏）

今年度の講座の詳細については、当センターホームページで紹介していますので、どうぞ御覧ください。また、来年度の第30期パワフルAOMORI！創造塾も今年度同様、3回の合宿型による講座、実践活動及びプレゼンテーションを予定しています。

今後も当センターは、楽しみながら地域づくりを行っていく人財を育成していきます。



青森県総合社会教育センター

検索

〒030-0111 青森市荒川字藤戸119-7 TEL 017-739-1252 FAX 017-739-1279 <http://www.alis.pref.aomori.lg.jp/>

# 学校が変われば地域が変わる 地域が変われば社会が変わる

学校と地域の協働実践セミナー公開講演 大阪市立大空小学校 前校長 木村 泰子 氏

平成29年度の「学校と地域の協働実践セミナー」は、「学校が変われば地域が変わる 地域が変われば社会が変わる」のテーマのもと、前半は映画「みんなの学校」の上映会、後半は大阪市立大空小学校前校長の木村 泰子 氏を講師に講演を行いました。

(※木村氏の講演を一部省略して記載しました。)

## 大空小学校の理念

地域の学校がその地域にあるかぎり永久に続くという理念、それは全ての子どもたちの学習権を保障する学校をつくること、それが大空小学校の理念です。学力向上が公立学校で果たさなければならない一番の優先順位だと言っているうちは、一部の子どもにしか適合しない公立学校になってしまうのではないのでしょうか。

学力の前に、子どもたちが学習する権利を周りの大人が確実に保障する必要があります。地域(公立)の子どもたちにとって、受験を目標とした学力が一番ではなく、夢を実現するために必要な学力をつけてあげることが大切です。

## 誰が困っている子なのか

見た目がいかに不良っぽい、1年生 B くんのお兄ちゃん。自分は中学校に登校していないにも関わらず、1年生の弟を毎日学校まで送ってきます。その姿を見て、小学校の校門の前で見守っている大人から「どうせなら、小学校にもう一度通ってみたら？」や「いろいろやってもらいたいことがあるからお手伝いしない？」などと声をかけられます。それを聞いたお兄ちゃんは「うっせー、くそばあ。」と捨て台詞を吐いて帰って行きました。そんなお兄ちゃんでは

ありますが、毎日毎日弟を学校まで送ってきます。その姿を見た地域の人は、入れ替わり立ち替わり声をかけます。そのような地域の人々に対し、「うっとうしじゃあ。」

と言い放っていたお兄ちゃんですが、そのうち黙って立ち去るようになりました。



そしてある日、「小学校で算数の勉強をしようか。」と声をかけると、「めんどくせえ。」と言いつつも、小学校の職員室で九九を勉強するようになりました。

このように、「おはよう。」と声をかけてもにらみ返す子は、どこの地域にも普通にいます。このような子どもたちこそ、実は様々な悩みや問題を抱えているのであって、逆に「おはよう。」と声をかけて、「おはよう。」と返す子はあんまり困っていないのではないのでしょうか。

## 「公開講演の様子」



## 大空小学校の空気

子どもたちの中には、他の地域の学校に通えなくても、大空小に来ると普通に通えるようになる子がいます。その子に聞いたところ、「大空小は空気が違う。」と言いました。「大空小の空気はどんなの？」と聞いたところ、「普通だけど居心地はいい。」とその子は答えました。それでは、大空小の空気はなぜ居心地がいいのか？それは教師だけで学校を作っているのではなく、地域全体で子どもたちを見守っているという雰囲気が学校にあり、その空気を子どもたちも感じています。学校の教師だけではできない部分を地域の人々が補ってくれて、子どもたちを支えてくれています。

地域の方々が子どもたちの近くにいることで、大人が子どもたちの手本になってくれます。学校だけでは支えきれない子も地域の中にはいます。そういった子どもを地域全体で見守り、育てていくことが、これから大切なことなのではないでしょうか。

## ◆木村 泰子 氏 プロフィール

(大阪市立大空小学校 前校長)

「みんながつくる みんなの学校」

を合言葉に、全教職員のチーム力で「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注ぐ。

学校を外に開き、地域の人々の協力を経て学校運営にあたるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室とともに学び、育ち合う教育を具現化した。



# 未来の青森県を担う若人育成講座

## —未来の青森県を担う若人育成講座とは—

未来の青森県を担う若人育成講座は、青少年（小学生～大学生）の自己肯定感や主体性を高めることを目的に、中学生・高校生・大学生対象の講座（コミュニケーション能力を高める講座等）と、小学生から大学生までを対象とした演習（寺子屋）を実施しています。演習では地域の公民館等を会場とし、勉強やレクリエーションなどを行い、異年齢交流をとおして、青少年の育成を図っています。今年度は、青森市・黒石市・七戸町の3市町で実施しています。



## —ナナメの関係から育まれる成長—

小学生から大学生までを対象とした、学校や家庭とは違う異年齢集団での活動から、様々なことを学んでいきます。上級生は下級生の面倒を見て頼りにされる中で責任感や自己肯定感を身に付け、小学生は中学生、中学生は高校生の姿を見て将来の自分がなりたい姿やあこがれを抱いていきます。



## —失敗もあるけれど—

中学生・高校生・大学生は講座で学んだことを基に、演習「寺子屋」を企画・運営します。しかし、思い通りにいくことばかりではありません。「話を聞いてもらえない。」「時間が足りない。」など、たくさんの『こんなはずじゃなかったのに。』という悔しい思いをバネに、悩み、話し合っで成長していきます。



## —成長した若者が地域を担う—

「公民館に初めて入ったけど、楽しい場所だった。」「最初は何ができるかわからなかったけど、少し自信が持てた。」など参加者の感想から、公民館が身近になり、自信もついてきたことがうかがえます。自信を積み重ねた若者が、学校や地域で様々な新しいことに挑戦していく第一歩を後押しするよう、来年度も講座を続けていきます。

### 講座

第1～7講座までの全7回の講座を企画し、「コミュニケーション能力を高める講座」「自分や仲間の良さを知る講座」「映画監督と自分の将来を考える講座」などを実施しました。



### 演習「寺子屋」

前半2時間が勉強タイム、後半2時間が交流タイム。勉強タイムでは小学生～大学生が一緒に勉強します。交流タイムでは、高校生、大学生が企画したレクリエーションを一緒に楽しめます。



## 来年度

来年度も「講座」と「演習」により青少年が相互に学び合い、成長できる「仕組みづくり」を構築し、県内各地へ普及を図る予定です。今年度の様子は当センターホームページに掲載しておりますので御覧ください。また、我が町でも実施してほしいという希望や一度見学してみたい、参加してみたいという要望などがありましたら、育成研修課（Tel：017-739-1253）までお問い合わせください。

VOL.2  
弘前市

## 魅力ある講座の実践紹介！

## 「かっこいい大人養成講座」

弘前市立中央公民館 学習支援係主査 油川 崇 さん

今回は、「かっこいい大人になろう！」を合言葉に行っている事業の取組について、担当の油川さんからお話を伺ってきました。



## 幅広い青年層に向けたキャッチーな講座に！

弘前市立中央公民館は、弘前市の中心市街地の方々を対象に事業を展開しています。また、12の地区公民館、岩木地域、相馬地域にも公民館があり、この中央公民館を含めて**15の公民館**で弘前市全域を対象に講座運営を行っています。

弘前市は人口が多く、年齢層もかなり幅広くなっています。その中でも中心市街地では、青年層の割合は非常に多くなっています。もともと中央公民館では各年齢層に合わせた事業を行ってききましたが、いわゆる青年層に向けての事業の参加者が年々減少してきたこともあり、それがこの「**かっこいい大人養成講座**」を始めるきっかけとなりました。

それまでの青年講座は通年で参加する形だったのですが、時代の流れと共に参加者のニーズが多岐にわたってきたこと、通年で講座に参加することの難しさなどを考慮して、「**単発の講座**」という形にしました。数ある講座の中から興味あるものだけに参加していただくことで、気軽にたくさんの方々に参加していただける講座になると考えました。それに伴い「**講座のネーミングもキャッチーなものにしよう**」と職員で考えてつけた名前が「**かっこいい大人養成講座**」です。

この講座の合言葉は講座名とおり「**かっこいい大人になろう！**」です。普段は仕事や家事で忙しい**青年層の方々に**、何か自分の**好きなテーマで集まってもらい**、その知識を深めたり、交流を深めたりしていただきたいと考えて始めました。青年層は、年齢が違っていても、興味・関心が同じものであれば楽しくやっつけていけないのではないかと思います。また、新しい出会いを通じて、「**かっこいい大人**」になるための経験やアイデアなどたくさんの「**引き出し**」をどんどん持って欲しいと考えています。

## ターゲットを絞り込み注目度を高める

弘前市内の公民館には、それぞれ**年齢層別に指導員の方が配置**されていて、どの講座の反応が良かったかなどの**情報交換を活発**に行っています。その結果をもとに**ターゲットを絞り込むことで、話題性や注目度を高める**ような事業を展開できるように工夫しています。それでもやはり人集めやネタ探しには苦労しています。

**周知方法**は市の広報誌、Facebook や Twitter、ホームページを使った Web 上での広報の他に、公的施設や大型店舗にポスターを貼っていただいています。

講師の選定は地区公民館で活躍されている方々の他にも「**津軽の名人・達人バンク**」に登録されている方々をお呼びして行うこともあります。**地域に根付いている方々**は心強いです。

## 今年度運営した主な講座

今年の主役はあなた！？

「マジックで忘年会を盛り上げよう！！」



心と体を整える大人のための「ハタヨガ講座」



香りのある暮らしを楽しもう「オリジナルせっけん作り」



## 《青森県総合社会教育センターシンボルマーク》

人づくりの拠点として、県民の生涯にわたる学習の輪が、和を持って限りなく広がっていくことを願いとしています。家庭、学校、地域社会が一体となる姿を表現するとともに、色を緑色とし、伸びゆく緑豊かな青森県を表しています。